City of Design
ASAHIKAWA

旭川市報道依頼

各報道機関　様

KJ00415926

2025年2月26日

発信課	社会教育部文化振興課旭川市民文化会館
担当者	鈴木　圭一
連絡先	電　話　直通25-7331／内線6352
	ＦＡＸ　22-3526
	E-mail　siminbunka@city.asahikawa.lg.jp

分　　類	イベント･行事［○］　募集［　］　契約･入札［　］　会議･説明会［　］　その他［　］
日　　程	令和7年3月12日　10時00分　～　令和7年3月16日　17時00分
発表項目 （行事名）	第４８回（令和６年度）旭川ななかまど文化賞授賞式及び受賞記念イベントの開催について
概　　要 （趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。）	第48回(令和6年度)旭川ななかまど文化賞授賞式及び受賞記念イベントの開催について(旭川市民文化会館協力事業) ＜授賞式(入場無料)＞ 日　時　令和7年3月16日(日)午後3時(開場　午後2時) 場　所　旭川市民文化会館　大会議室(旭川市7条通9丁目) 主　催　旭川ななかまど文化賞協議会(会長　井内　敏樹) 受賞者　2人 （有田　さなえ　様(ペン習字)，谷　由紀子　様(七宝焼)） ＜受賞記念イベント(観覧無料)＞ 日　時　令和7年3月16日(日)午後3時40分から 場　所　旭川市民文化会館　展示室(旭川市7条通9丁目) 内　容　「有田　翠苑　ペン書道展　＆　谷　由紀子　七宝焼展」 ※授賞式当日は受賞者による展示作品の解説あり ※同展は3月12日(水)午前10時から同所で開催中 ※各受賞分野の体験コーナーも開設 （美文字クリニック，七宝焼の制作体験(有料)）
添付資料	有　☑　　無　☐
報道（取材）に当たってのお願い	当日，取材する場合は，事前に旭川市民文化会館(0166-25-7331)まで御連絡願います。 また，受賞者への取材は，授賞式や受賞記念イベント中は御遠慮願います。
備　　考	旭川ななかまど文化賞受賞者の優れた文化・芸術作品を，どなたでも無料で観覧できますので，事前に広く周知をお願いします。

H：■　S：■　D：

第48回(令和6年度)

旭川ななかまど文化賞 授賞式

及び 受賞記念イベント

※受賞者の作品を3月12日(水)より展示室で展示

令和7年3月16日(日)

15:00(14:00開場)

旭川市民文化会館 大会議室・展示室

(令和6年度旭川市民文化会館協力事業)

旭川ななかまど文化賞とは

旭川市民文化会館が昭和50年2月2日に誕生したことが契機となり、市民で創る組織が、各種の優れた市民の文化芸術活動に対し、その功績をたたえるため、市民の有志が旭川ななかまど文化賞協議会を発足させ「旭川ななかまど文化賞」を創設しました。旭川ななかまど文化賞は、芸術・芸能等の分野で営々と研鑽を積み重ねている個人・団体を顕彰し、郷土旭川市の拠点性の向上や、香り高い豊かな文化都市となっていくことを期待して設けられたものです。

第48回（令和6年度）旭川ななかまど文化賞　受賞者プロフィール

ペン習字講師　有田　さなえ Sanae Arita（分野：書道）

硬筆研究 北光会会長（日本ペン習字研究会副会長、同北光支部支部長など）。

昭和47年、故郷旭川に戻り、その翌年に近くの公民館で行われていた教室に通ったのを機にペン習字へ没頭。4年後には硬筆書写検定１級に合格。その前後から指導者としても活動。

令和6年10月、旭川市民文化会館展示室において「第27回北光会ペン書道展」を開催。日頃指導する多数の生徒とともに自らも出品し、会場内に設けた「美文字体験コーナー」とあわせて大盛況となる。

また、同書道展の開催に先駆け東京で開催された「第87回全日本ペン書道展」において、最優秀団体賞のほか、児童生徒の部でも団体優秀賞を受賞。自らも日本ペン習字研究会の副会長として、全日本ペン書道展の審査で貢献するなど、後進の育成にも活躍。ペン書道家としては、昭和59年の全日本ペン書道展において、会長奨励賞受賞。前述した令和6年の全日本ペン書道展では、全国600支部の中から最優秀団体賞を受賞。自らの作品は、神楽公民館で開催する「有田翠苑ペン書道展」に出品し、市民の目を楽しませている。

指導者としても市内公民館などで指導する傍ら、地方からの添削やリモートでの添削にも対応し、約200名を師範へと導く一方、毎年、ペン習字の向上のための講習会も開催。平成22年には日本書写技能検定協会より優秀指導者賞を日本ペン習字研究会からは永年貢献賞を受賞。現在もペン字検定試験の審査員も務める。

七宝焼講師　谷　由紀子 Yukiko Tani（分野：工芸）

七宝研究グループ「色彩」主宰。

中学生時代に美術授業で七宝焼に魅了され、短大で金工を学び、昭和58年、故郷旭川に戻り、七宝研究グループ「七彩」に入会。恩師のもと七宝の技術を学び、旭川道新文化センターのアシスタントとして長年に渡り七宝焼の指導に携わりながら、自らも平成6年の「新ロマン派展」にて読売新聞社賞を受賞。

また、平成5年、公益社団法人日本七宝作家協会に入会。3年間、日本七宝作家協会展の入選を続け、平成8年に準会員。その後も入選を続け、平成12年に協会の北海道理事と評議員2名の推薦を受け正会員となり、現在、市内で活動する唯一の正会員で、道内でも3名しかいない伝統工芸技術者である。

その力量と貢献は協会から高く評価され、令和元年に協会より感謝状を授与され、令和5年には協会からの依頼を受け「Enamelism2023」に作品を出品。

正会員後も平成25年に「まなびネットあさひかわ」の七宝焼講師として登録。平成26年には、恩師の勇退を機に独立して「色彩」を発足。生徒に合わせた技法を指導し、年1回発表の場を設けることで、生徒のさらなる技術向上を目指しながら、七宝焼を通しての「生涯学習」に繋がる活動にも取り組んでいる。

特に、市内公民館や百寿大学等の七宝焼講師や障害者支援施設での手指訓練の講師を長年に渡り引き受け、旭川市の高齢者文化祭作品展の入賞作品選考委員も務めるなど、地域社会や生涯学習という観点からも積極的に関わりながら、七宝焼の伝統工芸技術の継承に尽力している。

受賞記念イベント「有田 翠苑 ペン書道展 & 谷 由紀子 七宝焼展」

～ 文化芸術分野の垣根を越えて、受賞者2人の作品がコラボ展示されます！美麗で伝統的な作品の数々をぜひお楽しみください ～

3月12日(水)～16日(日) 10:00～19:00 ※最終日は17:00終了

旭川市民文化会館　展示室（旭川市7条通9丁目）入場無料

●各受賞分野の体験コーナーも開設！
※12日(水)～15日(土)で開催

・美文字クリニック　（各日13:30～17:30）
・七宝焼の制作体験（各日10:00～18:00）
※七宝焼の制作体験には材料費等の実費負担があります。（1,000円より）

●作品説明会を授賞式後に開催！
※16日(日) 15:40より

・各受賞者自らが展示作品を説明します。

お問合せ　旭川ななかまど文化賞協議会　☎0166-25-7331